

沼高図書だより

令和5年3月4日
広島市立沼田高等学校
図書委員会

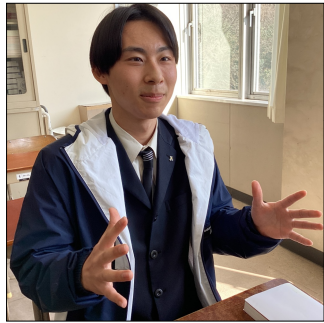
沼高の読書家にインタビュー

今回は、年間を通じて数十冊の本を借りた「沼高の読書家」3人にインタビューを行った。

3年1組

黒瀬巧真くん

高校生の間に読んだ本で一番印象に残っているのは、大坂なおみ選手のコーチを務めたサーシャ・バインさんの『心を強くする』です。ここから学んだ「緊張をポジティブ思考に変える」という方法は、部活動でも、入試でも役に立ちました。中でも「大きな野心がなければ戦えない。小さな目標があれば勝てない」と思っています。



朝読の時はもちろん、寝る前が何となく読書タイムになっていました。大体1時間くらい読むので、年50冊くらいは読破します。自分で買うことはほとんどなくて、沼高の図書室や市立図書館で借りることが多いです。

本で得た知識で「これは」と思ったことは、ノートにまとめていました。そういった自分の中の「引き出し」を増やす練習が、入試にも役立つと思います。



このコーナーでは、先生方にとつて思い入れのある一冊を紹介していただきます。今回は国語科の秦先生にお話を伺いました。

先生の思い出の一冊は何ですか。デュ・モリエールの『レベッカ』です。

読んだのは10年くらい前なのですが、あのラジオ番組の「年間で一番面白かった小説」というコーナーで紹介されたことがきっかけで、興味を持ちました。



3年4組

深澤七穂さん

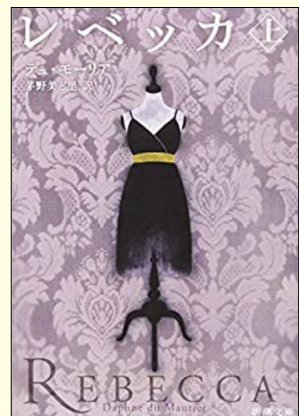
本は、だいたい月に3冊くらいは読みます。小説が多いですが、漫画とかもよく読みますね。あまり自分で買うことはしません。もっぱら借りる派で、沼高の図書室を利用することが多かったように思います。読みたい本をリクエストしたこともあります。

私はバス通学をしていたので、登下校の時間がそのまま読書の時間でした。あとは寝る前です。気づいたら1、2時間経っていることもありました。

「どんな内容の本なのですか。サスペンス小説です。前半では、主人公の女性がリゾート地で大富豪の男性と恋に落ち、結婚すると言われ、その後」

本棚の宝物

面はとても明るいのですが、後半の展開がかなり衝撃的で、その対比が面白かったですね。グイグイと物語に惹き込まれるので、受験生も気分転換におすすめ



てみたり。語彙力や文章力は読書の習慣の中で身についたもののように思います。読むスピードも格段に上がったので、国語の試験では有利だったと言えるかもしれません。

2年4組

竹下夢乃さん

最近読んだ本で印象に残っているのは、芸人の上田晋也さんが書いた『経験』です。本人のここ10年間の出来事を書いた本で、顔が分かるぶん想像しやすく、楽しく読めました。あと私は書道部に所属しているので『五字名句墨場必携』という作品集もとても勉強になりましたね。



「今年受験で、活動報告書を書く必要があったのですが、読書で培った力がずいぶん役立ちました。今まで読んだ本の中の言い回しを使っ」

図書委員長より

みなさんこんにちは！図書委員長の宗田桃佳です。今日は、私が図書委員長になってから行ったことなどをお伝えしたいと思っています。



昨年度行った一番大きな変更は、本の貸し出し期間を1週間から2週間へ延長したことです。これは私が図書委員長に立候補していたとき宣言していたことなので、実行できてよかったです。また「貸し出し冊数を増やしてほしい」という声があったので、一度に借りられる本を5冊に増やしました。また各クラスの実態を見て、学級文庫として提供していた本の一部を回収しました。予想より回収したクラスが多かったのですが、自分で本を学校へ持ってきて朝読をしているということがありません。本を読むことは、感受性や人間性を豊かにしたり、知識を増やせたりなど、いいことが満載です。これからも多くの本を読んでいきましょう！

図書委員会ではおすすめの本コーナーを作ったり、季節に合わせてコーナーを作ったりなど、生徒に多くの本を読んでもらえるよう、いろいろな工夫をしています。創作が好きな人やイベントが好きなのは、来年度ぜひ図書委員として一緒に活動しませんか。

名作文学館

「よろしゅうございます」と、同じような、冷やかな調子で答えたが、少し間を置いて、何か心に浮んだらしく、「お上の事には間違いはございませんすまいから」と言い足した。

—森鷗外『最後の一句』より—

時は江戸時代。斬罪になると決まった父を救うため、長女いち子は「代わりに私たち子供を殺してください」と奉行所に願ひ出る。子供をおどかすための拷問道具が並ぶ中、取り調べが始まるが、いち子は臆することなく意見を述べる。そして彼女の発した「最後の一句」が役人たちをたじろがせる……。

